

事業報告書

2024年度

自 2024年 1月 1日

至 2024年12月31日

公益財団法人 岩谷直治記念財団

目 次

事業概況と実績	2
1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に 対する助成	3
2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な 産業上の実績が認められる業績の表彰	5
3. 人材育成と国際交流への助成	6
4. 情報活動	7
5. 主要事業日誌	8
事業報告の附属明細書	10

<事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成及び奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上及び国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。
その達成のために2024年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

- | | | |
|--------------------------|-----|-------------------------------|
| ①第51回（2024年度）岩谷科学技術研究助成 | 81件 | 161,244千円 |
| ②第1回（2023年度）岩谷科学技術特別研究助成 | 14件 | 72,400千円
※助成金は1年目費消分 |
| ③第2回（2024年度）岩谷科学技術特別研究助成 | 16件 | 159,750千円
※助成金は2025年度以降に費消 |

2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 第51回（2024年度）岩谷直治記念賞（一般対象） | 該当なし |
| （中小企業対象） | 2件 10,000千円 |

3. 自然科学分野における人材育成と国際交流への助成

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ①岩谷国際留学生奨学助成 | 58,534千円 |
| 第50回（2024年度）岩谷国際留学生奨学生（新規） | 21名 |
| 第49回（2023年度）岩谷国際留学生奨学生（継続） | 12名 |
| ②岩谷日本人大学院生奨学助成 | 6,750千円 |
| 第1回（2024年度）岩谷日本人大学院生奨学生（新規） | 5名 |

2024年度までの累計で、岩谷科学技術研究助成は1,250件 25億181万円、岩谷科学技術特別研究助成は30件 2億9,780万円、岩谷直治記念賞は52件 1億3,500万円、岩谷奨学助成は543名 10億6,244万円に達しました。

1. エネルギー及び環境に関する独創的で優れた研究に対する助成

－① 岩谷科学技術研究助成－

1) 決定

選考委員会推薦の別表1に記載の81件を、2024年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が第51回（2024年度）助成対象に決定した。

助成金総額は161,244千円。

2) 助成対象と応募

(1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 応募期間

6月1日～7月31日（2ヶ月間）

(3) 応募件数

239件（前年度184件）

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会（9月3日）

本年度の応募総数239件を12名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は39～40件となった。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会（11月6日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表1の81件の推薦を決定した。

4) 第11回研究成果発表会

日時：2024年3月7日 12:30～14:30

場所：東京會館

(1) 研究成果発表（3分間スピーチ）

第49回（2022年度）助成金受領者73名による研究成果発表

（3分間プレゼンテーション）のオンライン配信を行い、研究の成果や途中経過について発表を行った。

(2) 質疑応答

会場での相対によるポスターセッションにおいて、選考委員12名と上記発表者による質疑応答を行った。

5) 第50回(2023年度)岩谷科学技術研究助成金贈呈式

日時: 2024年3月7日 15:30~16:30

場所: 東京會舘

(1) 研究助成金贈呈書授与

第50回(2023年度)助成金受領者75名に対して、研究助成金贈呈書の授与を行った。

一② 岩谷科学技術特別研究助成一

1) 決定

選考委員会推薦の別表2に記載の16件を、2024年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が第2回(2024年度)助成対象に決定した。

助成金総額は159,750千円。

2) 助成対象と応募

(1) 助成対象

「エネルギー及び環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 応募期間

6月1日~7月31日(2ヶ月間)

(3) 応募件数

54件(前年度47件)

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会(9月3日)

本年度の応募総数54件を12名の選考委員で分担し書類選考を行うことを決定した。応募案件1件について2名の選考委員が専門性を加味し審査を担当するため、1人当りの審査件数は9件となった。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会(11月6日)

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに審議を行った結果、研究助成候補として別表2の16件の推薦を決定した。

2. エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

－岩谷直治記念賞－

1) 決定

選考委員会推薦の別表3に記載の2件を2024年11月開催の第2回定例理事会で承認した後、理事長が記念賞に決定した。

副賞金額は、1件につき5,000千円、総額10,000千円。

2) 表彰対象と推薦

(1) 表彰対象

エネルギー及び環境に関する優れた技術開発で顕著な産業上の実績が認められる業績の表彰

一般対象、中小企業対象 各2件以内

(2) 推薦期間

6月1日～8月31日（3ヶ月間）

(3) 推薦件数

5件（一般対象1件、中小企業対象4件）

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会（9月3日）

推薦案件5件を選考委員全員で審査することとした。

(2) 書類審査

各選考委員は定められた「審査基準及び審査報告」に基づき書類審査を行い、審査内容を記載した「評価表」を事務局で「審査集計表」にまとめ、選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会（11月6日）

各選考委員から提出された「評価表」及び「審査集計表」をもとに、技術的独創性、産業上の実績等の視点から審議を行った結果、岩谷直治記念賞候補として別表3の2件の推薦を決定した。

3. 人材育成と国際交流への助成

—岩谷奨学助成—

1) 決定

岩谷奨学生を決定した。

①岩谷国際留学生奨学助成

第50回（2024年度）岩谷国際留学生奨学生（新規）	21名
第49回（2023年度）岩谷国際留学生奨学生（継続）	12名

②岩谷日本人大学院生奨学助成

第1回（2024年度）岩谷日本人大学院生奨学生（新規）	5名
-----------------------------	----

奨学金は、岩谷国際留学生奨学助成 58, 534千円、
岩谷日本人大学院生奨学助成 6, 750千円の総額 65, 284千円。

2) 選考経過

2023年12月1日～20日まで公募をしたところ、
岩谷国際留学生奨学生は258名（前年度196名）、岩谷日本人大学院生奨学生は
105名の応募があった。

2024年1月～2月に実施した書類審査・面接により、岩谷国際留学生奨学生は、
別表4-1記載の21名、岩谷日本人大学院生奨学生は、別表5記載の5名を選考し、
理事長が2024年度の新規奨学生に決定した。

なお、学位の取得を目指す別表4-2記載の2023年度奨学生12名については、
継続して岩谷奨学生とした。

3) 交流活動

(1) 奨学生間及び奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催した。

<第49回（2023年度）奨学生>

第5回例会（3月8日） 於：財団会議室

内 容：2023年度の振り返り

参加者：奨学生19名

<第50回（2024年度）奨学生>

第1回例会（4月19日） 於：都内

内 容：オリエンテーション

参加者：奨学生26名（留学生21名、日本人5名）

第2回例会（7月12日） 於：都内近郊

内 容：都内見学、体験

参加者：奨学生24名（留学生19名、日本人5名）

第3回例会（9月26日～28日） 於：青森県、岩手県

内 容：研修旅行（工場見学、施設見学、体験）

参加者：奨学生25名（留学生20名、日本人5名）

第4回例会（12月12日～13日） 於：都内、都内近郊

内 容：研究発表会、個人面談、施設見学、体験

参加者：奨学生24名（留学生20名、日本人4名）

(2) 学位取得後、日本や各地域で活躍している奨学生OB・OGとの交流を図るため、岩谷奨学生「友の会」を開催した。

財団設立50周年記念 岩谷奨学生友の会 世界大会（8月3日） 於：都内

内 容：財団活動状況報告、奨学生OB・OG近況報告

参加者：奨学生OB・OGと家族等 494名

4. 情報活動

1) 出版・刊行物

(1) 財団機関誌「needs」を8月1日に刊行し、各地の図書館、他財団、当財団関係者及び奨学生、奨学生OB・OGに送付した。(1,230部)

(2) 「研究報告書」を8月1日に刊行し、研究助成金を受領した先生方の他、各地の図書館、他財団及び当財団関係者に送付した。(820部)

(3) 贈呈式ブックレット

岩谷科学技術研究助成金受領者を掲載した冊子を作成し、贈呈式出席者等に配布した。(250部)

2) インターネットによる情報開示

岩谷科学技術研究助成、岩谷直治記念賞および岩谷奨学助成の3事業や、当財団に関する情報などを広く一般に公開している。

また、この3事業の専用ページを設け、応募受付や選考審査、書類提出などを行うことによって、業務の効率化を図っている。

5. 主要事業日誌

年月日	内 容
2024/1/9~17	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生候補者、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生候補者書類選考
2/ 1	2023年度(1月1日~12月31日)監査
2/ 6, 8, 9	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生候補者、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生候補者面接選考
2/19	2024年度第1回定例理事会
	・2023年度(1月1日~12月31日)事業報告書(案)並びに計算書類(案)承認
	・次期評議員候補者(2024年3月12日~2028年3月)(案)承認
	・第26期(2024年4月1日~2026年3月31日)研究助成及び表彰に関する選考委員(案)承認
	・第26期(2024年4月1日~2026年3月31日)奨学生選考委員(案)承認
	・第51回(2024年度)岩谷科学技術研究助成募集要項(案)承認
	・第2回(2024年度)岩谷科学技術特別研究助成募集要項(案)承認
	・第51回(2024年度)岩谷直治記念賞募集要項(案)承認
	・2024年度定時評議員会開催(案)承認
	・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
3/ 4	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生(21名)、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生(5名)決定
3/ 7	第11回研究成果発表会
	2023年度岩谷直治記念賞、研究助成金贈呈式
3/ 8	第49回(2023年度)岩谷国際奨学生 第5回例会
3/12	2024年度定時評議員会
	・2023年度(1月1日~12月31日)計算書類(案)承認
	・次期評議員(2024年3月12日~2028年3月)選任
	・次期評議員会長(2024年3月12日~2028年3月)選定
	・2023年度(1月1日~12月31日)事業報告 他
3/25	内閣府に事業報告等に係る提出書(2023年度)提出
4/10	麹町税務署に「公益法人等の損益計算書等の提出書」(2023年度)提出
4/19	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生 第1回例会
6/ 1	第51回(2024年度)岩谷直治記念賞募集開始

年月日	内 容
6/ 1	第51回(2024年度)岩谷科学技術研究助成募集開始
	第2回(2024年度)岩谷科学技術特別研究助成募集開始
6/ 7	2024年度第1回臨時理事会 (決議の省略)
	・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
7/12	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生 第2回例会
7/31	第51回(2024年度)岩谷科学技術研究助成応募募締切
	第2回(2024年度)岩谷科学技術特別研究助成応募募締切
8/ 1	研究報告書(Vol. 47) 発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 50) 発刊
8/ 3	岩谷奨学生「友の会」世界大会開催
8/31	第51回(2024年度)岩谷直治記念賞推薦締切
9/ 3	2024年度第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
9/26~28	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生 第3回例会(研修旅行)
11/ 6	2024年度第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
11/13	2024年度第2回定例理事会
	・第51回(2024年度)岩谷科学技術研究助成候補81件承認
	・第2回(2024年度)岩谷科学技術特別研究助成候補16件承認
	・第51回(2024年度)岩谷直治記念賞候補2件承認
	・特定費用準備資金の積立・取崩の変更(案)承認
	・2025年度(1月1日~12月31日)事業計画書(案)承認
	・2025年度(1月1日~12月31日)収支予算書(案)並びに 「資金調達及び設備投資の見込みについて」(案)承認
	・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 他
11/19	内閣府に2025年度事業計画書及び収支予算書提出
11/22	2024年度岩谷直治記念賞受賞者、研究助成金受領者開示
12/ 1	第51回(2025年度)岩谷国際留学生奨学生募集開始
	第2回(2025年度)岩谷日本人大学院生奨学生募集開始
12/12~13	第50回(2024年度)岩谷国際留学生奨学生、第1回(2024年度)岩谷日本人大学院生奨学生 第4回例会
12/20	第51回(2025年度)岩谷国際留学生奨学生応募募締切
	第2回(2025年度)岩谷日本人大学院生奨学生応募募締切
	以 上

事業報告の附属明細書

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。

第51回（2024年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所属	役職・研究者	研究テーマ	助成金額 (千円)
1	東北大学 多元物質科学研究所	講師 安達 正芳	合金フラックスを用いた窒化アルミニウム結晶の液相成長法の開発	2,000
2	大阪大学 大学院薬学研究科	教授 有澤 光弘	連続照射マイクロ波を用いるカーボンゼロ物質製造法の開発	2,000
3	東京都立大学 大学院理学研究科	准教授 石田 真敏	近赤外吸収型ポルフィリン類緑色素を複合化した無機ハイブリッド光触媒による水の完全分解	2,000
4	東京工業大学 物質理工学院	助教 磯辺 篤	固相で高いアルカリイオン伝導度を示す自己集合性多孔質材料の構築	2,000
5	鈴鹿工業高等専門学校 電子情報工学科	准教授 板谷 年也	水素インフラ設備の機械式継手部の弾性波を利用したアコースティックエミッションによる非破壊評価に関する研究	1,994
6	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 市川 修平	水陸両用光無線給電システムを実現する窒化ガリウム系光デバイスの創出	2,000
7	千葉大学 工学部	教授 糸井 貴臣	水素輸送・貯蔵に革新をもたらすオンデマンド型マグネシウム合金の開発	2,000
8	東京大学 大学院工学系研究科	講師 李 敏赫	空間的に浮遊させた金属粒子の燃焼特性に酸化雰囲気及ぼす影響の解明	2,000
9	岡山理科大学 理学部	教授 岩永 哲夫	高効率な正孔輸送パスを実現する板状含窒素パイ共役系有機半導体の開発	2,000
10	岐阜大学 工学部	准教授 植村 一広	混合原子価ポリオキソメタレート二次元集積体を用いた太陽電池素子の形成	2,000
11	大阪大学 大学院基礎工学研究科	准教授 内田 幸明	ナノシート液晶マイクロカプセルの創成	2,000
12	鹿児島大学 大学院理工学研究科	教授 大橋 勝文	リモートセンシング技術を利用した大気化学環境把握	2,000
13	豊橋技術科学大学 総合教育院	教授 岡田 浩	窒化物半導体デバイスの絶縁ゲート構造形成技術と窒化物半導体集積回路応用	2,000
14	北海道大学 大学院理学研究院	特任講師 岡本 和紘	液化アンモニアを反応場とする微小空間における反応場の設計と制御	2,000
15	北海道大学 大学院工学研究院	准教授 萩野 勲	ZIFの形状制御とマイクロ波改質を利用した固体高分子形燃料電池用カソード触媒の開発	2,000
16	名古屋大学 大学院工学研究科	助教 織田 晃	固体表面を利用した新奇金属間化合物ナノ構造体の簡易設計と水素キャリア触媒への応用	2,000
17	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 垣内 弘章	超高周波励起大気圧プラズマを用いたリチウムイオンバッテリー用非コンポジット型厚膜Si負極創成技術の開発	2,000
18	中央大学 理工学部	助教 角田 貴之	下水の高速嫌気性膜分離処理による高濃度メタンガス回収	2,000
19	北海道大学 大学院地球環境科学研究院	准教授 加藤 優	貴金属ナノ構造体電極触媒におけるナノバブル生成機構の解明	2,000
20	京都大学 大学院工学研究科	助教 金子 光顕	高温動作不揮発性メモリ実現に向けたAlBN強誘電体のSiC基板上への成長	2,000
21	学習院大学 理学部	教授 狩野 直和	ホウ素に配位したアゾメチンの集積による近赤外発光材料の開発	2,000
22	都城工業高等専門学校 電気情報工学科	助教 川崎 剛輝	超伝導モータの電機子コイル用3本並列導体の転位構成の有効性的実験的検証	2,000
23	東北大学 多元物質科学研究所	助教 菅野 杜之	プラズマ表面改質を利用した酸化物固体電解質の特性向上	2,000
24	東京都市大学 理工学部	准教授 岸本 喜直	逆解析を利用したリチウムイオン二次電池の長寿命化に資する構造最適化シミュレーション手法の開発	2,000
25	佐賀大学 海洋エネルギー研究所	教授 木上 洋一	往復流型ダクトを用いた潮流発電用タービンシステムの研究	2,000
26	東京工業大学 物質理工学院	准教授 小西 玄一	高移動度かつ加工性に優れた液晶性有機半導体の開発	2,000
27	大阪大学 大学院基礎工学研究科	助教 近藤 慎司	難溶性負極被膜の設計による水系電解液の電位窓拡大と水系リチウムイオン電池の開発	1,850

第51回（2024年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
28	名古屋工業大学 大学院工学研究科	助教 近藤 政晴	蛍光蛋白質を利用した光合成生物内での光収穫機能の拡張に関する研究	2,000
29	東邦大学 理学部	准教授 今野 大輝	廃PET由来MOFを活用したPFAS処理技術の開発	2,000
30	大阪公立大学 大学院工学研究科	教授 齊藤 丈靖	シリコン廃棄物粒子を利用した高効率水素発生プロセスの構築	2,000
31	秋田大学 大学院理工学研究科	教授 齋藤 嘉一	層状化合物半導体In ₂ (Se, Te) ₃ の空孔分布制御とナノドメインエンジニアリング	2,000
32	早稲田大学 先進理工学部	講師 酒井 求	水添加法による金属有機構造体の結晶形態および吸着特性の制御	2,000
33	茨城大学 学術研究院	助教 坂根 駿也	エピタキシャルMg ₃ Sb ₂ 薄膜を用いた横型熱電材料の開発	2,000
34	奈良女子大学 研究院自然科学系	准教授 清水 隆之	光合成細菌の超硫黄分子代謝を利用した生物脱硫装置の開発	2,000
35	長崎大学 大学院総合生産科学研究科	教授 白川 誠司	タンパク質自在連結手法の開発と環境調和型生分解性材料創製への適用	2,000
36	東京農工大学 <small>西東京三大学共同サステナビリティ国際社会実装研究センター</small>	特任助教 鈴木 龍汰	藻類脂質の加水分解の高度制御による化学品生産プロセスの開発	2,000
37	津山工業高等専門学校 総合理工学科	准教授 関 一郎	バイオガスの金属製造プロセス利用に向けた燃焼挙動調査とその応用—硫化チタンの合成	2,000
38	弘前大学 大学院理工学研究科	助教 関 貴一	顕微界面振動分光法を用いた、水素発生二次元ナノ電極上の水の界面水素結合様式の解明	2,000
39	弘前大学 大学院理工学研究科	教授 関谷 亮	近赤外光の有効活用を目指したナノ炭素材料の開発	2,000
40	関西大学 化学生命工学部	准教授 曾川 洋光	省エネルギー除湿を実現可能な温度応答性アルギン酸ゲルの開発	2,000
41	近畿大学 理工学部	講師 竹入 史隆	高いイオン伝導性と化学安定性を兼ね備えたヒドリドイオニクス材料の創製	2,000
42	宇都宮大学 工学部	助教 竹渕 優馬	ホウ素含有中性子シンチレータの開発	2,000
43	東京大学 大学院工学系研究科	特任助教 竹本 晶紀	コロイド状ナノ粒子を利用した複合酸化物内包ゼオライトの開発とN ₂ O分解触媒への応用	2,000
44	北海道大学 大学院農学研究院	助教 辰野 宇大	東電福島原発事故後の営農再開水田における原発由来の難溶性放射性微粒子の流入と水稲の放射性セシウム移行係数に与える影響、その経年変化	2,000
45	長岡技術科学大学 電気電子情報系	教授 田中 久仁彦	三源系ファインチャンネルミストCVD法による環境調和銅硫化物系薄膜太陽電池の作製	2,000
46	岡山理科大学 理学部	准教授 田邊 洋一	化学ドーピングにより熱伝導を抑制した3次元集積化グラフェンを用いた熱電変換材料の開発	2,000
47	早稲田大学 大学院情報生産システム研究科	教授 丹沢 徹	小型IoT端末向け振動発電用電力変換回路システムの開発	2,000
48	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系	准教授 近松 彰	全固体フッ化物イオン電池における高イオン伝導度固体電解質の開発	2,000
49	東京大学 大学院工学系研究科	講師 豊島 遼	オペランド表面分光を駆使した高選択分子ガスセンサの開発研究	2,000
50	静岡大学 農学部	准教授 長尾 遼	藻類バイオレメディエーションによる有価物生産の分析	2,000
51	奈良女子大学 研究院自然科学系	教授 中島 隆行	水素社会の実現に向けて—銅ヒドリド多核錯体触媒を利用したギ酸を水素キャリアーとする水素生成・貯蔵プロセスの開発—	2,000
52	名古屋工業大学大学院 大学院工学研究科	教授 中村 修一	二酸化炭素資源化を目指した水中利用可能な太陽光駆動型新規有機合成触媒の開発	2,000
53	長崎大学 大学院総合生産科学研究科	准教授 中山 智喜	温泉源泉用の火山性ガス・粒子の小型連続計測システムの開発と環境関連分野への応用	2,000
54	東京理科大学 工学部	嘱託助教 難波江 佑介	壁面加熱・冷却と進行波を組み合わせた乱流摩擦抵抗低減の試み	2,000

第51回（2024年度）岩谷科学技術研究助成金受領者

別表1

番号	所属	役職・研究者	研究テーマ	助成金額 (千円)
55	京都大学 大学院工学研究科	助教 西岡 季穂	電気化学的水素製造の高効率化に向けた液中の気体輸送特性の直接的 定量評価	2,000
56	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 西本 能弘	環境水保全に資するPFAS化合物の変換および分解反応の開発	2,000
57	筑波大学 数理物質系	助教 沼舘 直樹	レーザー実験技術を利用した皮膚表面のオゾン酸化に伴うOHラジカル 生成過程の解明	2,000
58	京都大学 大学院農学研究科	教授 橋本 渉	窒素固定細菌によるブルーカーボンからの生分解性プラスチック生産 の開発	2,000
59	東北大学 多元物質科学研究所	講師 長谷川 拓哉	高効率太陽光熱交換を実現する混合カチオン窒化物プラズモニックナ ノ結晶の低温合成	2,000
60	三重大学 大学院工学研究科	教授 八谷 巖	耐久性能向上を指向した新規導電性高分子ポリピロール誘導体の開発	2,000
61	香川大学 創造工学部	准教授 原 光生	素材の耐摩耗性向上技術の開発	2,000
62	山形大学 大学院有機材料システム研究科	教授 東原 知哉	機能性半導体高分子とカーボンナノチューブの複合化による熱電変換 材料の創成	2,000
63	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	准教授 広瀬 侑	極限環境藻類を利用したバイオ燃料の低コスト生産	2,000
64	京都大学 大学院人間・環境学研究科	准教授 廣戸 聡	色素増感水素還元触媒の効率化に向けたパンクロマティック曲面分子 の開発	2,000
65	島根大学 総合理工学部	助教 藤村 卓也	低エネルギーの可視光により環境汚染物質の分解を可能とする色素- ナノシート複合体の開発	2,000
66	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	助教 前田 千尋	多重縮環カルボゾールを基盤としたキラル光学材料の開発	2,000
67	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	教授 前之園 信也	高エントロピーペロブスカイト酸化物ナノ粒子からなる完全環境調和 型熱電材料の創製	2,000
68	山梨大学 クリスタル科学研究センター	助教 丸山 祐樹	単結晶の異方性を利用したりチウムイオン伝導性酸化物単結晶基板の 開発	2,000
69	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	教授 三浦 智也	電気・光協奏分子システムによるアルケンの <i>anti</i> -Markovnikov型水和 反応の開発	2,000
70	崇城大学 生物生命学部	教授 宮坂 均	光合成細菌エキスおよび光合成細菌由来リポ多糖（LPS）を利用した 微細藻類の増殖促進技術	1,400
71	東京農工大学 大学院工学研究院	助教 森田 将司	シリカナノ空間内での分子性酸化物種の安定化による高効率エネル ギー変換型光触媒の開発	2,000
72	立教大学 理学部	教授 森本 正和	ナノスケール蛍光イメージングによるプロトン伝導性高分子の環境・ 構造・物性の相関の解明	2,000
73	三重大学 研究基盤推進機構	教授 姚 永昭	解釈可能なAIを用いた実動作中のパワーデバイスにおけるキラー欠陥 の特徴抽出	2,000
74	京都府立大学 大学院生命環境科学研究科	准教授 安田 啓介	MeVイオンビームを用いた全固体リチウムイオン二次電池の軽元素オ ペランド分析	2,000
75	大阪電気通信大学 工学部	准教授 安永 健	金属3Dプリンタを利用した低エンタルピー熱利用のための熱交換器形 状最適化手法の開発	2,000
76	大阪大学 大学院理学研究科	講師 山下 健一	高効率近赤外光触媒の開発：ポルフィリン系全吸収色素を用いた新規 光化学反応系の構築	2,000
77	長崎大学 薬学部	助教 山本 耕介	創薬研究に資する有機硫黄化合物の電気化学的合成法	2,000
78	静岡大学 大学院総合科学技術研究科	准教授 吉田 信行	超低栄養性細菌をプラットフォームとした低炭素・低エネルギー型バ イオプロセスの構築～e-メタンの利用を目指して	2,000
79	公立千歳科学技術大学 理工学部	准教授 脇坂 聖憲	ポーラス炭化モリブデン材料を利用したCO2多段階還元触媒開発	2,000
80	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	准教授 渡邊 貴一	マイクロフローカプセル化技術を利用したバイオベースな蓄熱ナノカ プセルの高速生成	2,000
81	東京薬科大学 生命科学部	教授 渡邊 一哉	微生物電気分解による食品廃棄物からの水素生産の高効率化法の開発	2,000
		(50音順)	合計	161,244

第2回（2024年度）岩谷科学技術特別研究助成金受領者

別表2

番号	所 属	役職・研究者	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)
1	東京女子医科大学 先端生命医科学研究所	講師 秋山 義勝	金属表面を利用したリユース可能なスマート培養基材の開発	10,000
2	東京都市大学 理工学部	教授 伊東 明美	重量車用ポート噴射水素エンジンの過渡応答性向上およびオイル消費とクランクケース内水素濃度の同時低減に関する研究	10,000
3	九州大学 先端物質化学研究所	准教授 猪石 篤	革新的塩化物イオン輸送型全固体電池の開発	10,000
4	山形大学 大学院有機材料システム研究科	准教授 笹部 久宏	高精細ディスプレイの超低消費電力化に資する長寿命・高色純度有機 EL デバイスの開発	10,000
5	京都大学 大学院地球環境学堂	准教授 田中 周平	ナノプラスチックの迅速定量方法の開発および生態系における生物濃縮過程の調査	9,750
6	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	教授 戸野倉 賢一	エチレンオキシドの大気環境リスク評価	10,000
7	静岡大学 電子工学研究所	教授 中野 貴之	過酷環境下における中性子検出に向けたBGaN高温中性子検出器の開発	10,000
8	愛媛大学 大学院理工学研究科	教授 中原 真也	分子拡散特性を応用した組成制御による水素-eFuel混合気の高圧高温場に対応した包括的な乱流燃焼制御技術の開発	10,000
9	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授 灰野 岳晴	自己修復と循環を実現する超分子ポリマー材料の開発	10,000
10	鳥取大学 工学部	教授 原 豊	小形垂直軸風車のウインドファームにおける風車最適配置解析システムの開発	10,000
11	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 星本 陽一	典型元素触媒で実現する粗水素を直裁活用した不飽和化合物の水素化反応	10,000
12	東北大学 多元物質科学研究所	教授 本間 格	ハイエントロピー原子層物質の創製によるレアメタルフリー多価イオン電池の開発	10,000
13	京都先端科学大学 工学部	教授 松本 龍介	高強度鋼中の粒界における応力-水素-格子欠陥重畳作用の解明	10,000
14	岐阜大学 工学部	教授 三輪 洋平	CO ₂ 架橋反応によるケミカルリサイクル可能な熱可塑性エラストマーおよび樹脂の開発	10,000
15	京都大学 大学院人間・環境学研究科	教授 吉田 寿雄	光触媒と光触媒反応の開発	10,000
16	北海道大学 大学院工学研究院	助教 Li Feng	セルロース由来原料を利用した回収可能な高機能性プラスチック材料の開発	10,000
		(50音順)	合 計	159,750

第51回（2024年度）岩谷直治記念賞 受賞者一覧

No	対象	受賞者		推薦者	開発業績
		所属	代表者		
1	中小企業	株式会社奥谷金網製作所 代表取締役社長	奥谷 智彦	公益財団法人 神戸市産業振興財団 理事長 富山 明男	高耐圧・高耐久・長寿命を実現した「パンチングメタル(打抜金網)」の開発
2	中小企業	柴田科学株式会社 代表取締役社長	柴田 眞利	日本労働衛生工学会 会長 鷹屋 光俊	世界で初めて光散乱式粉じん計を開発し、労働衛生環境、公害問題などの飛躍的な改善に貢献

第50回（2024年度）岩谷国際留学生奨学生

別表4-1

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	郭 芳欣 GUO FANGXIN	中国	東京農工大学 農学	M2
2	伊力亜 艾山 YILIYA AISHAN	中国	大阪公立大学 物質化学生命系	D1
3	梁 承民 YANG SEUNGMIN	韓国	東京大学 化学	D3
4	盧 承鉉 ROH SEUNGHYUN	韓国	東京大学 先端エネルギー工学	M2
5	陳 彦君 CHEN YENCHUN	台湾	京都大学 農学	M1
6	謝 佳臻 HSIEH CHIACHEN	台湾	早稲田大学 情報理工・情報通信	M2
7	ダシドルジ ダギースレン DASHDORJ DAGIISUREN	モンゴル	工学院大学 建築学	M2
8	ガンフヤグ テンギスbold TENGISBOLD GANKHUYAG	モンゴル	東京大学 化学システム工学	M1
9	bold ナイラムダフ BOLD NAIRAMDAKH	モンゴル	東京大学 原子力国際	M1
10	ゴブ ユーセイン NGOV YUSENG	カンボジア	千葉大学 創成工学	D1
11	ジン オンポー CHIN OMPOR	カンボジア	福井大学 安全社会基盤工学	M1
12	レクシ アルヴィアン ネルチャン REXY ALVIAN NERCHAN	インドネシア	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学	M1
13	ナディア アミン NAHDIAH AMIN	インドネシア	岐阜大学 生命科学・化学	M1
14	ラオルー チュソン LAOLUE CHERXIONG	ラオス	長岡技術科学大学 工学	M1
15	タン シャオイン TAN SHAOYING	マレーシア	大阪大学 生物工学	D2
16	ムハammad カイルラー ビン アドラン MUHAMMAD KHAIRULLAH BIN ADLAN	マレーシア	福井大学 安全社会基盤工学	M1
17	アデルリン アン リー シェエン ADELINE ANG LI XUAN	マレーシア	東京農業大学 食品安全健康学	M1
18	ウィン レ シュエ イー WIN LEI SHWE YEE	ミャンマー	京都大学 森林科学	M1
19	ス ウェイ ニン SU WAY HNIN	ミャンマー	長岡技術科学大学 工学 情報・経営システム	M1
20	グエン ティー ホアイ トゥーン NGUYEN THI HOAI THUONG	ベトナム	鹿児島大学 工学	M1
21	グエン・ヴァン・クアン NGUYEN VAN QUANG	ベトナム	長岡技術科学大学 工学	M1

第49回（2023年度）岩谷国際留学生奨学生 継続者

別表4-2

	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	薛 慧炅 SEOL HYEKYUNG 女 23才	韓国	京都大学 生物科学	M2
2	ツェレンサンブー マンドハイ TSERENSAMBUU MANDUKHAI 女 25才	モンゴル	岩手大学 デザイン・メディア工学	M2
3	サオ サンボ SAO SAMBO 男 27才	カンボジア	北海道大学 北方圏環境政策工学	M2
4	エルモ ジュアナラ ELMO JUANARA 男 28才	インドネシア	北陸先端科学技術大学院大学 創造社会デザイン研究領域	D2
5	パヴィトラン ジャヤプラバガラン PAVITHREN JAYAPRABAGARAN 男 24才	マレーシア	豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学	M2
6	シャルマディ ヴェール SHARUMADHI VELOO 女 26才	マレーシア	豊橋技術科学大学 応用化学・生命工学	D2
7	ラス ヒシャダン フザイリ ビン ラス ヒルミ RUS HISHDAN HUZAIRI BIN RUS HILMY 男 23才	マレーシア	山梨大学 土木環境工学	M2
8	ワガン アン エレイン WAGAN ANN ELAINE 女 29才	フィリピン	京都大学 応用生物科学	D2
9	スックムナード プッティタ PHUTTHITA SOOKKUMNERD 女 26才	タイ	長岡技術科学大学 機械工学	M2
10	レ ティ ゴック アン LE THI NGOC ANH 女 25才	ベトナム	岩手大学 農学	M2
11	ルーン フー ユン LUONG HUU DUNG 男 25才	ベトナム	茨城大学 理学	M2
12	グエン ティ トウ マイ NGUYEN THI THU MAI 女 25才	ベトナム	愛媛大学 理工学	M2

第1回（2024年度）岩谷日本人大学院生奨学生

別表5

	氏名	国	大学・専攻	課程
1	儀満 政寿 SEIJYU GIMA 男 22才	日本	長崎県立大学 情報工学	M1
2	新屋 和花 NODOKA SHINYA 女 28才	日本	京都大学 応用生命科学	D2
3	藤波 楓夏 FUKA FUJINAMI 女 22才	日本	名古屋大学 地球環境科学	M1
4	渡辺 健仁 TAKEHITO WATANABE 男 23才	日本	京都大学 エネルギー社会・環境科学	M1
5	渡辺 瑠合 RUAU WATANABE 女 28才	日本	総合研究大学院大学 先端学術	M2